

平成27年度包括外部監査の結果および意見に対するその後の措置状況について

所属名 図書館

項 目	結果報告および意見	左記に対するその後の措置状況
施設のあり方	<p>(1) 県立図書館の役割をより明確にすべき (意見6)</p> <p>図書館のあり方の原則としては、県立図書館も市町立図書館と同様の機能を果たすのがよいが、効率化の観点から市町立図書館との役割の違いをより明確にすることを検討すべきと考える。すなわち、(a)市町立図書館が収集できない資料で、かつ、県民にとって重要な資料を収集する役割をより明確にし、また、(b)市町立図書館が利用回数減少などを理由に除籍した図書を県立図書館で保管する役割、を今後も維持することを検討すべきと考える。</p>	<p>文部科学省告示「図書館の設置及び運営上の望ましい基準」では、都道府県立図書館は充実した図書館サービスに必要な資料に加えて、市町立図書館等の要求に十分に応えるための資料の整備に努めることとされており、それに基づいた図書資料の収集・整備を行っているところです。</p> <p>(a)については、県立図書館の役割をふまえ、専門書や学術書を重視した資料収集に努めるとともに、平成28年度は県内製造業に働く技術者の実務や、理工系大学生の研究に役立つ、技術工学分野の資料の重点的収集を行いました。</p> <p>(b)については、平成4年度から実施しており、引き続き資料保存センターとして市町立図書館の除籍資料の受入れを行いました。</p> <p>なお、現在県立図書館のあり方を検討中であり、その中で、県立図書館として果たすべき役割についても整理することとしております。</p>
	<p>(2) インターネット予約による資料貸出要求について (意見7)</p> <p>市町立図書館のあり方をも考慮することから長期的な課題とならざるを得ないとはいえ、県民によるインターネット予約を利用した協力貸出を検討すべきと考える。</p>	<p>現在は、県民が最寄りの市町立図書館へ電話やメール等で申し込み、その図書館が県立図書館へ貸出依頼し提供することで、県民が図書を最寄りの市町立図書館で借りることができる仕組みを構築しているところです。</p> <p>ご意見のような、県民がインターネットから県立図書館に図書の貸出を申し込み、市町立図書館を通じて受け取る仕組みについては、平成28年度に同様の仕組みを実施している他県の県立図書館2館に対してシステムの概要を視察し、実態や課題の整理を行っているところです。</p> <p>実施には市町立図書館の合意と、県立・市町立双方のシステムの改修が必要であることから、今後さらに課題を研究し、導入の是非を含めて、市町立図書館と意見交換を行ってまいります。</p>

項 目	結果報告および意見	左記に対するその後の措置状況
収支の状況	<p>(3) 収集すべき図書の方針（意見18）</p> <p>県立図書館は、過年度においては新刊図書の70%を購入することが可能な図書購入予算を保持していたが、予算縮減により、それは到底不可能な状況である。購入すべき図書（新刊図書の70%）を「幅広く」購入できない以上、県立図書館の特性、強みを十分に検討したうえで集中して購入すべき図書を明確にし、厳選して収集する必要がある。これにより、資料収集における市町立図書館との連携が必要となり、縮減した予算の中で県民のより幅広い要求に応えられることになる。</p>	<p>県立図書館では、「図書館の設置及び運営上の望ましい基準」等に基づいた「滋賀県立図書館蔵書構成方針」において、各分野にわたって基本的・入門的な図書から専門的・学術的な図書まで、密度の高い蔵書構成を目指しております。</p> <p>その上で、実際の運用においては、県立図書館の役割を踏まえ、予算状況に応じた収集を行う必要があることから、これを明確にするため、平成28年度は、年度の図書資料収集の方針を事業概要に掲載して公開し、方針に沿って滋賀県に関する資料、琵琶湖をはじめとする水関係資料、専門書や学術書を重視した選定を行い、図書資料の収集・整備を図りました。</p> <p>また併せて、市町立図書館で購入できない図書をリクエストに応じて購入するなど、市町立図書館と連携した図書の収集を行いました。</p>
固定資産管理の状況	<p>(4) 貸出回数0回の図書の把握（意見27）</p> <p>貸出回数0回の貸出利用されていない本に対して、貸出状況0回の本の状況（傾向・金額）を継続的に把握する仕組みを確立することにより、貸出されない本が増え過ぎないようにしていく必要がある。</p>	<p>システムの運用見直しなどにより、貸出利用の状況が把握できる仕組みを構築しました。これにより、年度末に、購入後5年間貸出されなかった図書をデータ抽出し、状況を把握しました。</p> <p>今後も、貸出回数0回の図書の状況について、定期的にデータの抽出を行い、継続的に把握しながら図書資料の整備を行ってまいります。</p>